

ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2018 の開催方針

1 目的

- (1) 学生が岩手県内の企業や行政、NPO 等との交流を通じて社会の在りようを学び、また、学生等が自らの研究や学びの成果を発信する場を広く提供することにより、学生自らが生き方・働き方を主体的に考える学びの場としての提供
- (2) 県内企業や行政、NPO 等が、それぞれの社会的存在や特徴的な取組の展示発表を通じて、学生にとって魅力ある生き方や働き先を考える機会を提供し、将来的に地元就職への機運を高めていく
- (3) 出展者同士の交流を通じたイノベーション創出の機会の提供

2 主催

「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」実行委員会

3 協力

いわてで働こう推進協議会

4 日時

平成 30 年 12 月 15 日（土） 13：00～16：00

5 会場

岩手産業文化センター（アピオ）アリーナ（岩手県滝沢市砂込 389-20）

6 目標来場者数等

- (1) 来場者数 2,200 人（うち大学生・高専生 1,100 人）
- (2) 出展者数 240 ブース（事業所 185、自治体 20、経済・産業団体他 5、大学・研究室 30）

7 実施スケジュール

- ・ 4 月 24 日 第 1 回実行委員会
- ・ 5～7 月 出展事業所の募集
- ・ 7 月 第 2 回実行委員会
- ・ 8～9 月 出展事業所への学生取材
- ・ 10～11 月 出展団体紹介冊子・web ページ作成
- ・ 11 月 第 3 回実行委員会
- ・ 12 月 15 日 大交流会
- ・ 2 月 第 4 回実行委員会

8 広報等

出展を表明した企業等に学生が事前取材を行い、ホームページなどで公開するほか、ポスター掲示、チラシ配布、業界誌、広報紙への掲載、ホームページ掲載、ニュースレター掲載、メール、SNS 等の利用、新聞・テレビ等マスメディアへの報道依頼等による広報活動を行う。

9 予算

大交流会運営にかかる費用については、出展団体からの出展料ならびに文科省補助金等で賄う予定である。

10 その他

(1) 併催事業について

大交流会の趣旨に沿う事業であって、実施主体が明確な事業を関係機関に募り、併催事業として位置づける。

ア 「いわて就職面接会」の開催

公益財団法人ふるさといわて定住財団が実施している「いわて就職面接会」を本事業の併催イベントとして開催する。いわて就職面接会は、毎回、首都圏をはじめ関東、東北、北海道の大学、短大、専門学校まで周知しており、県内外の若者を対象とした岩手県内での就職先を紹介するイベントである。就職を希望する若者が大交流会にも参加することにより、県内事業所をより知る機会となることが期待される。

イ 昨年度に併催事業として実施したイベントの継続開催の検討

「ふるさと発見！大交流会 in Iwate2017」の併催事業として実施したイベントを中心に各主催団体へ呼びかける。

【例】(2017年度の事例から)

- ・ インターンシップ説明会
主催：東北インターンシップ推進コミュニティ岩手会議
- ・ 最前線の遊び方 ～デジタルエンターテイメントは始まったばかり～
主催：岩手県
- ・ 大学は面白い！ー理工学への誘いー
主催：岩手ネットワークシステム

(2) 学生等の移動について

会場がアピオと遠隔地にあることから、参加者の移動手段を講じる必要がある。

ア 参加高等教育機関の学生に、各機関～アピオのチャーターバスを手配

イ 盛岡駅を起点とする参加者を対象に、盛岡駅～アピオ間の路線バスの増便をバス会社に要請

ウ 遠隔地の高校生が集団で参加する場合には、地元自治体等のバス活用を働きかける